

# 議会だより

2022.10.27

No.85

審議結果……………P2

委員会報告……………P3

一般質問……………P5



コキア畑(道の駅付近)



市内駅伝競走大会(9/25)



勝山夜市(10/15)



法恩寺山有料道路  
無料化記念イベント(10/1)



ピンクリボン月間中の  
ホワイトザウルス



県総合防災訓練(10/8)

# 定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第15号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第4号)	予算	可決
議案第16号	令和4年度勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第17号	令和4年度勝山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第18号	令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第19号	令和4年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	建設産業	可決
議案第20号	令和4年度勝山市水道事業会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第21号	勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第22号	勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第23号	勝山市議会議員及び勝山市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第24号	勝山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第25号	勝山市減債基金条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第26号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	総務文教厚生	可決
議案第27号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可決
議案第28号	勝山市道路線の変更について	建設産業	可決
議案第29号	勝山市下水道条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第30号	勝山市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第31号	勝山市水道事業給水条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第32号	大蓮寺バイパス幹線整備工事請負契約の変更について	建設産業	可決
議案第33号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第3号)	予算	可決
議案第34号	令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設産業	可決
議案第35号	令和4年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第36号	令和4年度勝山市水道事業会計補正予算(第3号)	建設産業	可決
議案第37号	勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	同意
認定第1号	令和3年度勝山市歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査
認定第2号	令和3年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	継続審査
★意見書案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	-	可決
★意見書案第4号	免税軽油制度の継続を求める意見書	-	可決

## ◆ 請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書採択について	総務文教厚生	採択
陳情第4号	市道5-47号線の終点の変更に関する陳情書	建設産業	採択
陳情第5号	免税軽油制度の継続を求める陳情書	総務文教厚生	採択

## 【議決事件の字句および数字等の整理について】

議案第33号を先議したことに伴い、議案第15号および議案第33号に係る条項、字句、数字その他の整理を議会の議決により議長に委任されたため、議長において、議案第15号を「令和4年度勝山市一般会計補正予算(第3号)」から「令和4年度勝山市一般会計補正予算(第4号)」に、議案第33号を「令和4年度勝山市一般会計補正予算(第4号)」から「令和4年度勝山市一般会計補正予算(第3号)」に整理しました。

## 特別委員会報告

### ● 決算特別委員会

9月13日の本会議において、決算特別委員会が設置されました。

20日の委員会では、付託事件の審査について、時間の関係上、閉会中の継続審査とすることに決しました。

委員長：近藤栄紀 副委員長：中山光平  
委員：吉田清隆、久保幸治、富士根信子、松本聖司郎

### ● 議会改革特別委員会

勝山市議会における災害発生時等の対応要領等について、8月4日の大雨災害に関する検証を行いました。

委員からは、市の新型コロナウイルス感染症対策本部、大雨による災害対策本部ごとに勝山市議会災害対策支援本部の設置としてはどうかなどの提案が出されました。

## ● 総務文教厚生委員会

### ◆ 勝山市立中学校建設基本計画(素案)の中間報告について

勝山市立中学校建設基本計画(素案)は、勝山市立中学校の再編統合に伴う新中学校建設にあたり、「勝山市立中学校再編計画」を踏まえ、新校舎の必要性や基本理念、備えるべき機能など設計の前提となる整備方針や与条件を整理した上で、具体的な課題や条件の整理、事業全体の方針について市民や議会の意見を聞きながら勝山市立中学校再編準備委員会で検討・協議し、校舎の配置や規模、整備スケジュール等の基本方針と考え方をまとめ、示すことを目的とするものとの説明がありました。

委員からは、「県内の連携校クラスの検証結果を示してほしい。」「勝山高校と併設することによって、勝山高校への進学が増えるとは思えない。勝山高校の魅力の方が先ではないのか。」「勝山高校の先生が英語・数学の授業を全てTT(チーム・ティーチング)授業できるのか。」「再編準備委員会では意見はほとんど出ていないのに、専門委員会の意見を吸い上げているとは思

審査の結果、議案9件について全て可決し、陳情2件を採択としました。

えない。」など多くの質問・意見が出されました。それに対して教育長から一つ一つ丁寧な説明があり、12月議会には本計画案を提出したい旨の説明もありました。

### ◆ 勝山市立保育園のあり方検討委員会の進捗報告について

これまでに保育園あり方検討委員会が3回、野向・平泉寺保育園保護者説明会が2回開催され、勝山市における少子化の状況や市内保育園等の状況、保育園保護者の意見まとめ、保育の現状と今後の見通し等の説明、子どもたちにとっての保育(教育・養護)の視点と集団保育の必要性等の協議などを行ってきたことの説明がありました。

委員からは、子どもが少なくても残してほしいとの意見があるが、廃園にもっていこうとしているのかとの意見があり、理事者からは、廃園ありきの話はしていない、地域にあった園運営を考えている、集団保育の大切さも理解してもらっているとの回答がありました。

## ● 建設産業委員会

### ◆ 大雨災害で被災した下水道施設等の復旧について

8月4日の大雨災害により被災した下水道施設や農業集落排水施設、水道施設、全部で7箇所の復旧事業等について、それぞれ所要の補正予算が組まれました。

委員からは、北谷町谷にある水源地の復旧に関し、井戸を掘るなど抜本的な見直しが必要ではないかとの意見がありました。

理事者からは、地元の方と一緒に調査をし、季節を問わず一定の水量が確保できる場所としては、既設箇所が最も適当であったとの回答がありました。

審査の結果、議案11件について全て可決し、陳情1件を採択としました。

### ◆ かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)再整備・管理運営事業について

6月定例会以降のスケジュール報告があり、公募設置等計画を認定したことや、認定計画提出者である勝山ホテルマネジメントの地位の承継が行われたことの説明がありました。

また、理事者は、9月末には事業者と実施協定を締結したいとしており、今委員会では、その実施協定書(案)の内容について確認を行いました。

予算委員会

審査の結果、令和4年度勝山市一般会計補正予算（第3号・第4号）を可決しました。

◆災害見舞金増額！  
995万円

先の8月4日の大雨災害に伴い、本議会中の一般質問、委員会において各議員から多くの災害対策への意見、議論を受け、見舞金を増額する規則改正案が市から提出されました。

災害対策本部(室)が設置されると、床上浸水0円から3万円に、床上50%未満2万円から5万円に、それ以上は7万円を加算し、県と合わせると最大20万円の県下トップクラスの制度となります。

規則案件であるので、後の総務文教厚生委員会に図られ、施行に至ることとなりました。  
理事者からは、今後も他災害の見舞金との差額も考慮し、改正していくとの答弁がありました。

◆令和4年8月大雨災害  
対策事業費

大雨災害により被害を受けた農業者、養殖業者に対して各種助成を行うことを議決しました。

8月の大雨災害に対して、各議員から手厚い支援を求める声が多数あげられました。

勝山市は県と歩調を合わせ、農業経営支援資金利子補給金や営農継続緊急支援事業補助金、内水面災害特別支援事業補助金、水産業緊急資金利子補給金など地元負担や業者負担軽減策を講じました。

また、特筆して、本来は災害補償の対象にならない農業機械に対しても救済対象としました。

◆内水面災害特別支援事業  
補助金

大雨で被災した内水面養殖施設の修復や種苗(稚魚)の購入に要する費用等の助成として2958万9000円の予算審議が行われました。

委員からは、被災した施設へ続く道路の早期復旧などや、九頭竜川の鮎についても活発な意見や議論が交わされ、議案は早期の再開

を望む議員の声とともに可決されました。

あわせて、水産業緊急資金利子補給金として被災養殖業者等が早期の経営再建に資するため、貸付限度額1000万円、償還5年以内(据置期間2年以内)の借入資金利子に対して助成を行うこととしました。

◆広報クーポン  
応援キャンペーン事業

予算額479万3000円

観光対策として2種類のクーポン付き広報かつやまプラス版を全戸配布します。

①勝ち山おろしそば提供事業者応援  
期間▼令和4年11月1日  
～12月30日

②市内観光施設支援  
期間▼令和5年2月1日  
～3月31日

委員▼大雨災害の影響で、例年よりそばの収穫が遅いと思われるが、考慮されているか。

恐竜博物館は12月から休館、法恩寺有料道路も10月から無料になる。発行時期と周知の対策は。

理事者▼11月以降、ペイペイのポ

イント還元キャンペーンおよびライククーポンの配信も実施していくが、期間が重ならないように実施したい。併用は不可とし、同時に広報等で周知していく。

◆荒土まちづくり会館、  
改修します！

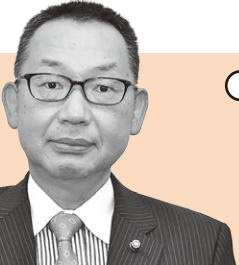
老朽化してきた荒土まちづくり会館の改修事業費見積もりについて、理事者から説明がありました。屋根防水更新などの外部改修工事、調理室改修などの内装改修工事としての予算額は、工事請負費6400万円、一般職給176万円です。

財源は、過疎対策事業費5650万円、公共施設等適正管理推進事業費830万円、一般財源96万円からになります。

委員からは、まちづくり会館は避難所としての位置づけであるが、改修概要図を見ても備蓄倉庫がないのではないかとの質問がありました。

理事者からは、他のまちづくり会館でも建築されたときから備蓄倉庫が設置されていないので、今は順次、設置を検討していくとの答弁がありました。

新風会・公明  
下牧 一郎 議員



### ○ 豪雨災害について

※4ページ参照

**議** 8月4日の集中豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

**①** 現地災害対策本部の設置の必要性について

今回の経験から、災害対策本部を市内に立ち上げると同時に「現地災害対策本部」をふれあい会館等に立ち上げ、情報収集をすると同時に市民の皆様の声を聴き、相談にのり、必要な物資や人員の手配をどうすべきかを市内と連絡を密にとりながら早急に対応すべきだったのではと思うが、見解を伺う。

**②** 見舞金の大幅増額について※

新聞報道等で他市の見舞金額が報道されて、当市は比較するとかなり少ないと思う。被災前の生活を取り戻すには、お金がどれだけ必要になるのか見当もつかないというのが切実な問題である。

そこで、現行の金額を大幅に増額すべきだと思いが、見解を伺う。

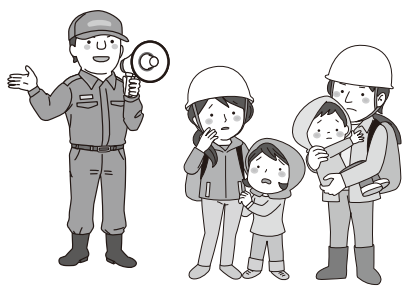
**理** ①大規模な災害が起こった場合、勝山市災害対策本部の設置に連動して被害の大きな地区のまちづくり会館に「地区災害対応支部」を設置

することで、地域住民の避難誘導、地元区長との連絡調整、被災地の被害状況の調査、被災者のニーズ把握などの面で有効であると考えている。

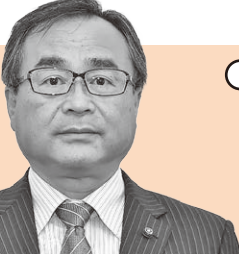
早期に勝山市地域防災計画を改正し、現行の現地対策本部の機能と情報収集機能を包含する地区災害対応支部制度の迅速な設置を行っていく。

**②** 勝山市の災害見舞金は他市と同程度だが、災害対策本部や災害対策室ができた際の追加の規定があり、この点で他市よりも高くなっている。

災害見舞金は、生活再建のための資金というより「お見舞い」という性質である。金額については、社会経済情勢の変化にあわせて検討していく。



日本共産党  
山田 安信 議員



### ○ 中学校を勝山高校の敷地内に建設する計画の問題点と対応について

その他の質問

- ・豪雨災害への対応について
- ・統一教会に関する問題と安倍氏の国葬に国民から反対の声があることについて

**議** ①説明会の発言者の多くは「勝高敷地に建設するのは反対」だが、市長はこの説明会で市民の理解と納得を得たと考えているのか。

教育長は再編準備委員会で「現時点では市議会や市民の大多数が反対している状況ではない」と発言したが、それなら、市民の大多数が賛成していると考えているのか。

**②** 説明会だけでなく、再編準備委員が、小・中・高の校舎が離れていても連携できる、地下通路は防犯と防災、安全、安心の問題がある等と指摘したのに、議論も解決もしないで計画案を強行するのは、か。

**③** 9月4日に「中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求め、市民署名」が始まったが、それでも市長と教育長は、勝高の同居型連携に固執するのか。

**④** 以前「市職員や教職員が署名しても、不利益を与えるようなことはしない」と答弁されたが、これは変わっていないか。

**理** ①説明会では延べ200人程度の出席や配信動画1200回を超える視聴回数といった点で、これで全ての市民の理解と納得を得たと考えていない。また、反対意見の他にも支持する声も届いており、それをもって市民の大多数が賛成しているとは言えないが、市の広報やホームページによる情報提供などを通して周知が進んでおり、一定の理解を得られているものと考えている。

**②** 再編準備委員の発言は、議員の指摘に沿った趣旨のものではないと受け止めていない。説明会等での意見は、引き続き協議を重ね、理解を得られるよう進めたい。

**③** これまでの経緯を踏まえて策定した再編計画に基づき、新中学校が魅力ある学校になるよう検討を進めるとともに、その内容を市民に示し、いただいた意見等を踏まえ、より良い方向に進めていきたいと考えていることになりはしない。

**④** 署名は個人の意思でされるもので、指摘されるようなペナルティーが課せられることはない。

### ○ 令和4年8月大雨災害について

※4ページ参照



丸山忠男 議員  
市政会

【議】 ①令和4年8月大雨災害に対する市長の見解について 今回の大雨災害に対する市長の見解を伺う。

②被災者に対する勝山市の見舞金を含む支援制度について※

今回の災害に対して、国、県、勝山市は被災者に対して支援や見舞金についてどのような対応していくのか。

被災者に対する支援金や見舞金の金額が、床上浸水の場合と床下浸水の差がとても大きいと感じる。床下浸水の被害を受けた家屋でも、座敷の畳を全てまくって敷板も外し土砂を取り除いている。床上の場合と何ら変わりがないことを思えば、床上、床下の区別も臨機応変に現状第一の対応をお願いしたい。

【理】 ①今回の大雨災害で被災された方々に対し、お見舞い申し上げるとともに、酷暑の中、支援活動に参加された災害ボランティアや支援物資、支援金をいただいた多くの支援者に心から感謝と敬意を申し上げます。

多くの家屋等が床上、床下浸水し、農地や水路等に甚大な被害が発生した。幸いにして人的被害はなかったが、改めて自然災害の脅威を思い知らされ、市民の安全安心のための防災減災対策の重要性を痛感した。

1か月が経過した今も市内各所に大きな爪痕を残し、完全復旧には多くの労力と長い時間を要する状況である。1日も早い復旧を市の最優先事項とし、組織を挙げて取り組みとともに、きめ細かな被災者支援を進めていく。

災害発生の初期においては、共助の体制があるかどうか、重要で、その要となる自主防災組織が設立されていない地区には、組織の立ち上げをお願いしたい。

また、市議会や区長会と一体となって、地域防災力の向上を図っていく。

②下牧議員への答弁でも申し上げたが、災害見舞金は、「お見舞い」という性質であり、金額については、社会経済情勢の変化にあわせて検討していく。

前回の平成4年は、国立公園昇格30周年記念行事として、お開帳にあやかって市主催記念式典、各種行事が催された。

今度のお開帳にあたって、市の取り組みの考えを伺う。

### ○ 平泉寺白山神社三十三式年祭にあたって ○ 市民交流センターについて



竹内和順 議員  
新風会・公明

その他の質問

- ・勝山市市民憲章について
- ・広報紙「広報かつやま」について

【議】 平泉寺白山神社33年目の「お開帳」が令和7年に迎えることになる。

前回の平成4年は、国立公園昇格30周年記念行事として、お開帳にあやかって市主催記念式典、各種行事が催された。

今度のお開帳にあたって、市の取り組みの考えを伺う。

【理】 式年祭の前年（令和6年）に勝山市は市制施行70周年を迎える。また、令和6年春の北陸新幹線福井駅・敦賀駅開業や令和8年の中部縦貫自動車道の県内全線開通が予定されるなど、式年祭の前後には重要な観光関連のイベントが集中する。

市は、式年祭の中心となる平泉寺白山神社や地元平泉寺区と協力し、記念行事や観光振興イベントを開催することで気運の盛り上げやPR、来訪者の受け入れなどを進めていく。

詳細は、地元の平泉寺区と協議し、早期に平泉寺白山神社など関係者の意向を伺い、役割分担やスケジュール調整を図っていく。

【議】 現在、勝山市市民交流センター内の5機能のうち、「湯つたり勝山」は休業し、また地域子育て支援センター「カンガルーのお部屋」は閉館し、すこやかに機能を移して相談所として開設している。

市民交流センターの公共施設としての今後の見通しを伺う。

【理】 感染症拡大防止対策に対応するため、令和2年4月末から湯つたり勝山の入浴機能は休業となっている。介護予防教室については内容を見直し、湯つたり勝山で継続して事業を行っている。また、市内の介護サービス事業所で運動指導と送迎付きの教室を実施している。今後も継続して高齢者の介護予防事業を推進していく。

開館を停止している子育て支援センターは、現在、すこやか内で相談業務を中心に様々な工夫をしながら実施している。健康体育課の保健師や管理栄養士、福祉児童課の保育士などの支援によって充実した相談体制が確保できており、当面は現在のすこやか内での運営を続けていく。

○ 令和4年8月4日大雨災害について  
○ 子供のワクチン接種について

その他の質問

- ・業務改善助成金の活用について
- ・道の駅 恐竜溪谷かつやまの駐車場について
- ・サニタリーボックス(汚物入れ)の設置について



安岡孝一 議員  
新風会・公明

**議** 8月4日に発生した大雨災害で荒土町伊波地区、皿川の氾濫箇所等の堤防のかさ上げ工事や川底の掘削工事が必要ではないか。また、あまごの宿付近、野津又川の護岸崩壊の復旧工事の対応、ボラソンの復設トイレの設置、酷暑の仮設トイレの設置、酷暑の中での作業のため、飲み物を冷やす簡易な冷蔵庫が必要ではないか。

**理** 杉本知事が、福井県が管理する一級河川皿川の護岸決壊箇所や伊波区の浸水状況を確認され、その後、奥越土木事務所から護岸崩壊箇所の復旧工事だけでなく堤防のかさ上げや浚渫(しゅんせつ)(川底の掘削工事)を合わせて実施するとしている。

野津又川は、土木事務所の管轄範囲と勝山市の管轄範囲があり、大きな被害があった横倉区にあまごの宿付近の護岸は、勝山市が災害復旧事業として申請している。災害査定で認められ次第、復旧工事に着手する。

仮設トイレについては、災害発生3日後からの設置となり、今後は災害発生直後から対応したい。

バッテリーを電源とするクローラーボックスをボラソンの活動中の熱中症対策のため被災現場で使用した。今回は、被災箇所が限定されていて10台で不足はなかったが、今後の大規模災害への備えとして買い増しを検討する。

**議** 日本小児科学会は8月10日、新型コロナウイルスワクチンの5〜17歳への接種について、従来の「意義がある」との見解を「推奨する」に強めた。また、厚生労働省はワクチン接種の努力義務について、これまで対象外だった5〜11歳にも9月6日、適用が決まった。

新学期に入り、子どもの感染機会が増えることが予想される。子どものワクチン接種はあくまでも本人と保護者が納得した上で判断するものなので、保護者へのより丁寧な情報の周知に努めてほしい。

**理** 今後の子どもへのワクチン接種に向けて、勝山市医師会の協力のもと準備を進めている。

市の広報紙やホームページ、チラシ等でワクチンに関する情報を分かりやすく掲載していく。

○ 食材高騰による小中学校の給食費について  
○ すくすく育成奨励金の見直しについて

その他の質問

- ・物価高騰による福祉施設への支援について
- ・8月4日の水害被害の検証について
- ・男性用トイレにサニタリーボックスを設置することについて



下道恵子 議員  
市政会

**議** 小中学校の給食において、近頃の食材の値上げは大きい影響があると思うが、保護者に負担をかけないために、どのようにやっているのか現状を伺う。

また、3中学校を再編して新中学校にした場合、給食費の無償化ができないのか市の考えを伺う。

**理** 小・中学校を問わず、栄養など給食の質が悪くならないように献立等を工夫し、給食費の値上げがないよう努力している。しかし、現場の努力ではどうにもならない場合、値上げをお願いせざるを得ないことも考えられる。

原油価格・物価高騰等に直面する生活者支援の一環として、6月補正で認められ、18歳以下の子ども全員に6万円を給付した「かつやまっ子元気応援臨時給付金」は、このような事態も想定したもので、もし給食費を増額せざるを得ない場合、保護者にはご理解いただきたい。

給食費については、小・中学校で差をつけることは考えていない。

中学校再編後の給食費の無償化は、経済状況の推移や新

中学校の特色など様々な観点から小学校の給食費も併せて慎重に検討していく。

**議** 市の子育て支援に、第3子以降の乳幼児に一律20万円を一括交付する「すくすく育成奨励金」がある。

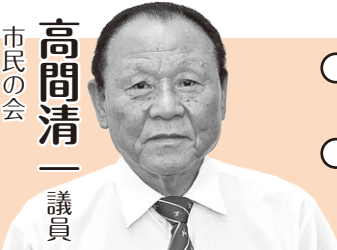
しかし、昨今の晩婚化により子どもは2人までとか、不妊治療で苦労して1人だけという家庭もある。また、年々出産費用が高くなっている現状も踏まえ、1人目から全員に10万円を支給する方がいいと思うが、市の考えを伺う。

**理** すくすく育成奨励金による人口減少の抑制効果は限定的となっているが、対象者へのアンケート等によると、その経済的な効果は評価をいただいている。

一方、勝山市育英資金奨学金制度を、貸与型から返済不要の給付型に切り替えることを検討している。

出生から成人までの子育て期間における支援のタイミングや金額、そのあり方について検討しており、すくすく育成奨励金の制度改正も、この奨学金制度の改正と併せて庁内全体で検討していく。

市民の会  
高間清一  
議員



- 道の駅隣接地における「恐竜渓谷かつやま」エリア地区計画について
  - 大蓮寺川元禄線放水路整備工事及び市の関連工事について
- その他の質問  
・東山いこいの森などの施設の再利用について

**議** 予定の1万4500㎡のうち、2800㎡は地元企業の食品製造会社が取得したとの報道があったが、もう1社は辞退した。

**理** 勝山市は、残った土地を4つの区画に分けて分譲する計画だが、今後どのような条件で売却するのか。

**議** 恐竜渓谷かつやまエリア地区計画は、道の駅とその隣接地を含めたエリアの賑わいの実現を目指し、道の駅を補完する機能の適正誘導を図り、背後に連なる白山連峰への眺望景観等との調和を図ることを目的として制定するものである。

**理** 市としては、当エリアが観光誘客施設の立地場所として恵まれた条件を満たしていること、また立地条件など都市計画は長期的なまちづくりが基本であり、一定の規制の中で付加価値の高いエリアの開発をお願いしていきたいと考えている。

**議** 現在、都市計画審議会で審議中の案件であり、審議会での議論を見守りたい。



**議** 県発注の大蓮寺川元禄線放水路整備工事や市発注の関連工事について伺う。

**理** 当初、約10年で6億円程度の工事と聞いていたが、平成26年から始まり、現在も続いている。全ての工事が完了するのはいつ頃になるのか。

**議** 平成26年度から始められた大蓮寺川元禄線放水路整備工事は、令和6年度中に完成すると聞いている。

**理** よって、市が行う道路整備については、令和5年度から福井県の事業が完成している勝山郵便局交差点から元町交番交差点に向かって順次整備を進め、令和7年度までに全ての整備を完成したいと考えている。

市政会  
帰山寿憲  
議員



- 災害復旧後の農業の持続について
  - 部活動の地域移行について
- その他の質問  
・中学校の再編に関して

**議** 市として、地域作物の多様化に向け、新規作物の推奨や栽培の支援を推進するべき。

**理** また、転作補助金制度を見直す方針だが、山間地の耕地維持のため、独自の対応を考えるべき。

**議** 勝山市の農業を取り巻く社会情勢が大きく変化している現状を踏まえ、国やJAに頼るだけでなく農地を維持していくことが農村集落を維持し、それが勝山市の持続につながっていくという観点から、市独自の新規作物の推奨や支援、地域作物の多様化、これを支援するための施設の必要性を検討していく。

**理** 水田活用の直接支払交付金見直しによって影響を受けると思われる勝山市の農地は、中山間地域を中心に約90haの見込みで、このまま進むと令和9年の作付けからは交付金の交付対象外となり、耕作放棄地になる可能性がある。

**議** 麦やそばを作付けし、懸命に農地を守っている方に対しては、政府の動向を注視し、国や県に対し支援を働きかけ、対象外になっても継続できるように市独自の対応を含め検討していく。

**議** 民間クラブ、指導者に資金的な支援を行うべき。

**理** また、指導者不足に対応するため、地域おこし協力隊の制度を利用してはどうか。

**議** 運動系部活動、文化系部活動ともに持続的に支援できる指導者の確保や謝礼等を含めた運営資金の確保が課題となる。3中学校の統合を視野に入れる中で、指導者確保のために必要な経費は、市が責任をもって対応していく。

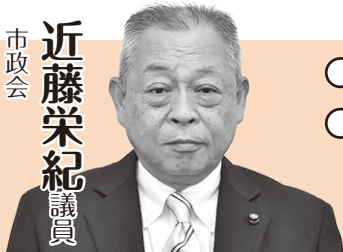
**理** 地域おこし協力隊制度の活用は、指導者の確保に向けた有効な手段の一つと考える。

**議** 隊員の活動として、中学校の部活動指導に加えて小学生のスポーツ少年団育成、高校生への指導、市民に対する運動教室の開催など、役割が期待できる。

**理** 先進地の事例研究を行い、部活動地域移行のサポート専門の地域おこし協力隊員を募集していく。



近藤栄紀 議員  
市政会



○ ハザードマップについて  
○ 福井県立恐竜博物館休館時の対応について

**議** 最新のハザードマップは、8月のような大雨を想定しているのか。時間雨量100mmを超える大雨が降った場合、土石流や地滑りなど発生する可能性が高い。風水害時に利用可能な避難所など、ハザードマップの見直しが必要ではないか。

**理** 市では、避難施設として36施設を指定避難所に指定しているが、災害の種類によって使用できない施設もある。また、避難情報を発令する際に住民が安全に避難できるように避難所を選定して知らせているが、避難者が不安感を覚えることも想定される。そのため、各地区に災害種別に応じてどこに避難するのが適切なかなど防災に対する知識の普及を図ることが必要である。

今回改訂したハザードマップを用いて、各地区の災害リスクやマップの見方、避難場所や避難方法などを周知し、平常時からの防災意識の向上と自発的で安全で的確な避難の心構えを養い、警戒時・災害時の円滑かつ迅速な避難を住民一人ひとりができるように努めていく。

**議** ハザードマップを見直す予定は現時点ではないが、ハザードマップに関する意見を次回改訂時に反映していく。

**議** 県は、令和4年12月から令和5年夏までに休館する方針を示した。リニューアルオープン時期を伺う。

**当市** にとって大変な影響が出ると思うが、この間、県、当市はどのような対応を検討しているのか。

**理** 県は、北陸新幹線開業に伴い、恐竜博物館企画展の開催やリニューアルオープンに向けたPR活動を実施していると聞いている。

市は、北陸新幹線県内開業と連携した誘客イベントをかつやま恐竜の森やスキージャム勝山、白山平泉寺や道の駅の周辺などで開催することを検討している。

また、市内誘客が落ち込まないよう恐竜博物館企画展会場と市内の誘客イベント会場を周遊するスタンプラリーの実施等を検討している。

これらに関する予算は、本年12月補正予算で計上し、休館中の勝山市への誘客による地域経済の下支えに努めたい。

松山信裕 議員  
新風会・公明



○ 勝山市の防災関係について  
○ 発達障害児への支援について

その他の質問  
・デジタルアーカイブについて

**議** ①勝山市地域防災組織連絡会について  
各地区自主防災組織間で情報を共有できる体制を整え、地域全体の防災力を底上げし、組織力の向上を図ることを目的とする自主防災組織連絡協議会の創設の進捗状況は。

**理** ②個別避難計画について  
勝山市における災害時の避難に支援が必要な高齢者や障害者ら一人一人の「個別避難計画」策定の取り組みと課題は。

**議** ①今年度に入り、各地区最初の区長会で説明し、全体の設立準備会議を2回開催した。7、8月には再度区長会で連絡会の設立に関する趣旨説明を行った。早期に3回目の設立準備会議を開き、今秋の勝山市地域防災組織連絡会設立を目指す。

②市では、当初から個別避難計画を作成しており、この点については県から先進的との評価を受けている。

しかし、人口減少や高齢化により支援者の確保が困難となってきた点が課題と考えている。

**議** 小中学校の発達障害の支援について  
小中学校の通常学級には、発達障害の可能性のある児童生徒が10人に1人とも言われている。学校現場における発達障害児支援の現状と課題はどのようなになっているのか。

**理** 通常学級に在籍し、特別な支援や配慮を必要とする児童生徒に対し、就学支援委員会の判断のもと、通級による指導を行っている。そこでは教科の学習やソーシャルスキルトレーニングなど一人一人のニーズに応じた指導を行っている。通級指導を必要としない児童生徒に対して、それぞれの教育的ニーズに応じて適切な指導や必要な支援を行っている。

特別な支援や配慮を必要とする児童生徒が通常学級にも在籍していることや、複数の障害を併せ持っている児童生徒が増えていることから、全ての先生方の指導力向上が課題であると考えている。特に、今年度は県の専門員が各校を巡回し、具体的な支援方法や校内支援体制について助言を行っている。

新風会・公明  
吉田清隆  
議員



## ○ 災害時の周知について ○ 市道の整備について

その他の質問  
・女性消防職員の確保について

**議** 8月4日に奥越地方を中心に線状降水帯が発生し、勝山市は午前10時に市内全域に警戒レベル4相当の避難指示を出し、避難所を開設した。警戒レベル4相当の避難指示は、災害発生のおそれが高く、生命を守る必要がある。

**理** 市には防災無線があり、水害に対する放送を随時行う必要があったと思うが、放送はなかった。当日、なぜ放送できなかったのか。

**議** 今後の災害時に対して市民への周知について伺う。

**理** 周囲の音を聞き消す大雨の状況等から電子媒体による情報提供を優先し、結果的に防災行政無線による一斉放送を失念した。大雨がピークアウトした12時55分になっても的外れな熱中症への注意喚起放送が繰り返し流れていたことも含め、対策本部の落ち度だと深く反省している。

**議** 現在、市民に告知する手段、タイミング等の検証を始めているが、当面は、防災行政無線やライン、緊急メール、音声一斉配信サービス、ホームページ等で市民に災害に関する情報の周知を図っていく。

**議** 勝山市にはアスファルトやコンクリートで舗装された道路は約39.2kmあり、年間の整備状況は3km弱となっている。今後の市道整備計画について、年間整備率を向上させることはできないか。

**理** また、国交省は10、20年の長期で考えれば安く済むとの考えで、コンクリート舗装の導入を視野に入れているが、勝山市もそれを視野に入れて市道整備に関する維持管理費の低減を進めることはできないか。

**理** 年間4000万円程度の予算を確保し、舗装の改修を行っているが、近年は国の施策により橋梁の定期点検や修繕工事を優先する予算配分となつていくことから、当分の間は整備率を向上させることは難しい。

**議** コンクリート舗装の導入については、市道のほとんどが生活に密着した道路で、道内に上水道や下水道等の占用物件があり、掘り返しや復旧も容易なアスファルト舗装としている。こうした占用物件が将来的に発生しない路線があれば、コンクリート舗装の導入も検討していく。

新風会・公明  
松本聖司郎  
議員



## ○ 観光関連について ○ 災害対策専門要員について

**議** 実家の仕事柄、他の観光業のフレームをよく伺う。フレームは、疲労や自分たちはいいことをやっているという慢心で、客や他の業者と違った他の対象への意識が薄れた場所から必ず起こる。

**理** 今後、観光業に携わる事業者への意識の根付かせをどのように行っていく方針なのか。

**理** 地域の各観光事業者が一体となって、相互におもてなしの意識を高めていくことが必要と考えている。

**議** 来年夏の福井県立恐竜博物館のリニューアルを控え、今まで以上の観光客を迎えることとなるため、勝山商工会議所を中心に勝山市観光まちづくり株式会社や観光関連事業による意識改革のための取り組みを進めていく。併せて、福井県観光連盟が主催するおもてなしオンラインセミナーやふくい嶺北連携中枢都市圏での観光おもてなしマイスター認定制度の活用を促すなど、観光事業者としての意識付けを高める取り組みを図っていく。

**議** 今回の大雨において、この規模は初めてのことであったこともあり、ボランティアとの連携・健康観察、被災者・職員の災害での動き方、運用規定に不足を感じ、専門職を置く必要性を強く感じた。

**理** 災害対策専門要員の雇用、設置について市の見解を伺う。

**理** 市職員には防災・危機管理の専門知識や対応能力が求められるが、専門の防災職員の育成には長時間を要する。退職自衛官には、災害対応への経験値や防災減災に対する対処法など様々なノウハウがあり、即戦力として危機管理対応力を向上させることができると考えていた。

**議** そこで、防災安全専門員として従事する退職自衛官1名を10月1日から新たに採用するため、9月補正予算案に計上している。

**理** 採用後は、防災に必要な知識・経験を有する「地域防災マネージャー」の資格を取得し、防災減災に向けた啓発や計画づくり、危機発生時には災害対策本部の運営に参画していただく予定である。

久保幸治  
議員  
日本共産党



○ 公共施設の削減について  
○ 勝山市国民健康保険基金について

その他の質問  
・農家の水害について

**議** 公共施設等総合管理計画の削減目標は、今後30～40年間で15～30数%削減するとなっているようだ。今回の、多くの市民が再考を求め、学校の再編は、公共施設削減の一環として、この中学校再編は計画され、実行されているのではないか。

**理** これまで学校再編は勝山市の教育環境向上のためと、一貫して申し上げてきた。学校の再編は、計画の中でも教育環境を改善するため、通学面での安全性や各地域における個別事情を十分に考慮したうえで学校規模の適正化・総量縮減について再編検討委員会等において検討していくとしており、決して公共施設の削減ありきで再編を検討をしている訳ではない。

**議** この質問の意図は、なぜ2割にも及ぶ市民の声を無視して中学校の再編を進めるのかが理解ができないから。勝山市という共同体の中で、行政や議会は市を導く決定権を持つ親という立場であり、市民はその子どもとも言える。子どもの幸せを願う親が、子どもの気持ちや声を聞かないのは親失格。市民の声を耳を傾けるべきである。

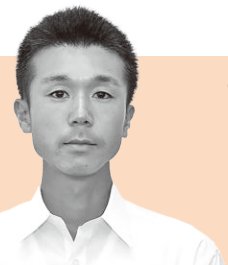
**議** 国保加入者の現状は、コロナ禍で所得や賃金は伸びず、物価上昇も続き、市民生活は苦しい状態が続いている。保険料の値上がりで加入者1人5000円と試算すると、4215人分では約2100万円となり、基金残高3.5億円の16.6年分となる。ここ4年間の会計収支は年平均733万円の不足で、これを補填しても基金残高は約30年分以上ある。

**理** そこで、国保の積立基金を取り崩し、加入者一人当たり均等に5000円を2年間、もしくは1世帯当たり1万円をコロナ対応の特別措置として減税することを提案する。

**議** ここ4年間の平均には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度が含まれ、不足額が大きかった令和元年度の実質単年度収支は約2700万円の不足で、仮にこの状態が続くと、基金は約13年後になくなる。

**理** 団塊世代の後期高齢者医療保険制度への移行による被保険者数の大きな減少や医療の高度化等による医療費の増加が見込まれるため、従来の考えどおり中長期的な国保税負担の平準化を図りたい。

中山光平  
議員  
市民の会



○ 新型コロナ対応についての確認と指摘

その他の質問  
・勝山市立中学校再編計画について



※参考資料

**議** 新型コロナ対応についての確認と指摘を一問一答で進める。

・コロナ死報道について  
愛知県の犬村知事は「第7波で、新型コロナが原因で死亡した人はいない。重症者以外の病気が原因で重篤な状態となっている人がほとんど」と発言し、死因の区分、定義と公表方法の見直しを求め、感染症対策と社会・経済活動の両立を図る必要があると続けている。また他の自治体からも同様の意見がある。

・ワクチン接種後の症状と因果関係について  
ワクチン接種後に死亡しても全て因果関係不明とされている。これに疑問を感じた名古屋大学名誉教授が、厚労省の死亡報告事例を調べたところ「担当医や病理医が因果関係あり」と報告しているにも関わらず、ワクチン分科会では因果関係は評価できないとされていることを発見した。

・新型コロナワクチン有効率について  
小児へのワクチン接種の先進事例を確認すると、接種して13日までは有効率+65%だが、42～48日では-41%にまで低下している。このような有効率の低下と逆転は各国で指摘されている。※  
・新型コロナウィルスの実態について  
8月30日時点の厚労省発表では、致死率が40代以下0.0%、重症化率が60代以下0.0%となっている。

以上を踏まえて、次の点を伺う。

① ワクチン接種事業には、接種率を上げて集団免疫を獲得し、感染拡大を防止するという目的があった。集団免疫の効果は確認できたか。

② 以上のような新型コロナ関連の実態を調べ、検討した結果、私は新型コロナワクチン接種をしていない。このような考え方や決断をした者は「努力義務」に反するか。

**理** 厚生労働省のホームページには、集団免疫について「新型コロナワクチンによって、集団免疫の効果があるかどうかは分かっておらず、分かるまでには時間を要すると考えられています」とあり、まだその効果については不明な状態と思われる。

② 自分の意思で接種しない場合は、努力義務に反することはない。



# 旅する蝶 アサギマダラ



遠く外国（台湾や香港）まで、海を超えて旅する小さな命。このアサギマダラという蝶を呼び寄せようと、本年の春から、蝶の好きな花（フジバカマ）を育ててきた方々がいます。9月までの約半年間、暑い日も、雨の日も花の世話を続けて、とうとう、この秋の9月の終わりにアサギマダラがここ勝山に飛来し、美しく可憐な姿を見せてくれました。これから九州方面へ南下して海を越えていく蝶に、旅の安全と休息を願う人々が多く訪れ、エールを送っていました。（久保 幸治 記）

## 議会日誌

7月29日 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会	21日 秋の交通安全県民運動市内巡回
8月 9日 福井県市議会議長会定期総会（福井市）	25日 勝山市内駅伝競走大会
10日 福井県市議会議長会事務局職員研修会（オンライン）	26日 総務文教厚生委員会、議会運営委員会、全員協議会、本会議
15日 谷はやし込み行列	28日 福井市議会行政視察 受入（有志）
17日 福井県市議会議長会 県知事要望（福井市）	10月 1日 共同募金運動オープニングセレモニー
26日 建設産業委員会、全員協議会	3日 大野・勝山広域行政事務組合議会視察（広島県～4日）
27日 福井県戦没者追悼式（鯖江市）	6日 全国高速自動車道市議会協議会（東京都）、勝山市高齢者連合会運動会
9月 1日 勝山市表彰式	7日 決算特別委員会
2日 福井県市町文協選抜美術展開場式	8日 福井県総合防災訓練
6日 本会議、全員協議会、勝山市議会災害対策支援本部会議、議会運営委員会	11日 三重県津市議会行政視察 受入
11日 献穀粟拔穂式	12日 議会広報特別委員会
12日 本会議（一般質問）、議会運営委員会	13日 福井県市議会議長会中央要望活動（東京都～14日）
13日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	17日 議会広報特別委員会
14日 総務文教厚生委員会、建設産業委員会	18日 近畿地方治水大会（福井市）
15日 建設産業委員会	20日 全国農業担い手サミットinふくい奥越地域情報交換会（大野市）
16日 予算委員会、全員協議会、本会議	23日 勝山産業フェア
19日 山口茜選手 世界バドミントン選手権大会2連覇達成報告会	24日 福井県市町議会合同研修会（鯖江市）
20日 議会改革特別委員会、議会運営委員会、決算特別委員会、建設産業委員会、議会広報特別委員会	26日 北信越市議会議長会総会に代わる評議員会（石川県）

## 12月定例会一般質問予定日

12/5（月）・6（火）  
両日とも 午前10時～



←詳細はこちら

## 編集後記

今議会は、8月4日に起こった大雨災害における被害の復旧に係る補正予算と各種議案の審査にあたることとなりました。中には年をまたぐ工事になるものもあり、議員一同、1日も早い復旧に至れるよう安心安全な勝山を目指し、今後も努力してまいります。（松本 聖司郎 記）

### 《議会広報特別委員会》

委員長 下道 恵子 副委員長 松本 聖司郎 中山 光平 富士根 信子 久保 幸治

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> [gikai@city.katsuyama.lg.jp](mailto:gikai@city.katsuyama.lg.jp)



議会中継動画



Facebook